

# 「集まる機会が無くなって人恋しくなったんだ・・・」

## 新たな集いの場の立ち上げ



左上：代表 佐藤 ユワさん 右上 佐藤 チイ子さん  
 左下：菊田 寿子さん 右下：長沢 喜代江さん  
 ←当日は残念ながら欠席された後藤 米子さん

今年の4月、中野にある滝ノ沢集会所で新たな集いの場「杖の会」が誕生しました。代表である佐藤ユワさんは、もともと「さくら会」という教室の代表を務めていましたが、「ご自身の運転免許返納をきっかけに解散。しばらく集まる機会が無くなってしまい、「人恋しかった」と。今の自分が集まれる場所ですと、家から歩いて行ける集会所での開催を考えました。周囲に思いを伝え、集まったのは少人数でしたが、「顔、見せ合いましよう」と、月に1回集まっています。

## 「芋煮会やるから混ざってね～！」

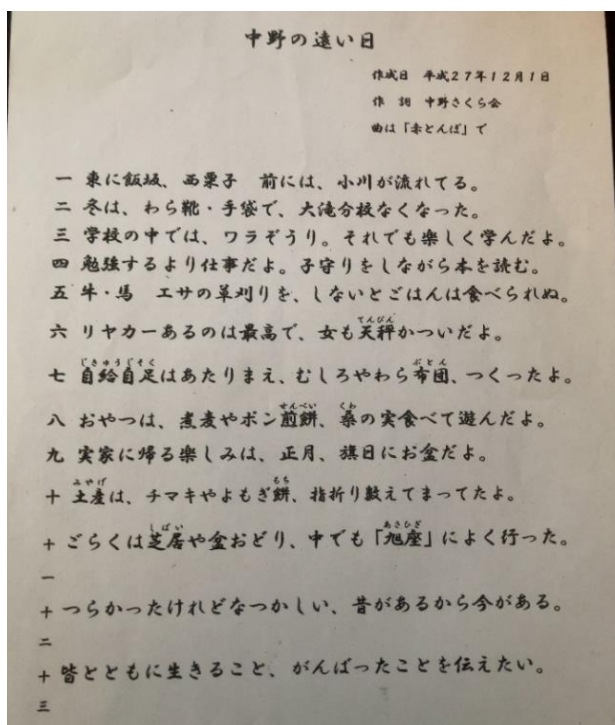
普段の教室では、認知症予防やフレイル予防などのミニ勉強会と、簡単な体操や歌を楽しんだ後に茶話会を開いて、手作りおかずやお菓子をいただきながらおしゃべりを楽しんでいます。10月の教室では、「11月の教室は休み。芋煮会やろうよ！包括さんも混ざってね！」と、雑談のなかから、芋煮会の計画が始まり：料理の得意な佐藤チイ子さんが手を挙げ、あつという間に役割が決まりました。

もちろん当日は混ぜてもらい、実家に帰って来たような空気感のもと、美味しい芋煮をいただきました。



## ～ 若い世代に伝えていきたい 実体験をもとにした歌 ～

昔の生活のことを思い出すと、この歌では表現できないほどの 佐藤 ユワさん「苦勞」があったんだよ。風呂に入るにも一苦勞。風呂に入る何時間も前からバケツに水を汲みに行き、家まで何度も何度も往復したし、畑の肥料にはトイレの汚物を使ったり、恥ずかしくて言えないような事も多くある。今のこの時代では、考えられないような事ばかりだけど、みんなで支え合って何とか…何とか生きてきた。地域の小学校に、この歌を貼ってもらったけど、残念ながら子供達には響かなかった…私らの時代があって今があること、誰かの苦勞があって今の幸せな時代をつくってきたということをこれからの人に伝えたい。そう願います。



▶中野さくら会として活動をしてきた時に、当時関わっていた保健師のサポートを受けて誕生したオリジナルソングです。